

平成23年度

事前評価結果

平成23年11月

広島県研究開発評価委員会

目 次

1 評価対象及び評価基準・総合判定基準	1
(1) 評価の対象	1
(2) 評価基準	2
(3) 総合判定基準	2
2 評価結果	3
(1) ランキング	3
(2) ポートフォリオ	4
3 評価委員会意見（総合判定）	5
課題別事前評価結果	7
【参考資料】	
1 広島県研究開発評価委員会設置要綱	32
2 広島県研究開発評価委員会ワーキングスタッフ名簿	33
3 経 緯	34

1 評価対象及び評価基準・総合判定

県立総合技術研究所が平成24年度から新たに実施予定の研究課題について、「広島県研究課題評価マニュアル」に基づき事前評価を実施し、その結果を取りまとめた。

事前評価

開発しようとする技術の内容や手法を精査し、県として投資を行う価値の高いものを選定し、予算等の重点的配分を図るため、予算要求を行う事前の段階において、新規に立案された研究課題について、技術的な目標達成可能性や県民又は産業界の具体的なニーズの存否等を評価するもの

(1) 評価対象

平成24年度から新たに実施予定の11課題を評価した。
評価対象研究課題一覧を表1に示す。

表1 評価対象研究課題一覧

番号	研究課題名	分野	センター名
1	健康被害をもたらす原因化学物質探索システムの開発	保健衛生	保健環境センター
2	環境負荷低減とコスト削減の両立を実現するLCA導入システムの開発	環境	保健環境センター
3	電池式センサ等ワイヤレス給電システムの開発	材料・加工	西部工業技術センター 畜産技術センター
4	導電性 DLC の実用化に関する研究	材料・加工	西部工業技術センター
5	車載部品エレクトロニクス化における安全性向上技術の開発	産業情報技術	西部工業技術センター
6	プラズマプロセスによる撥水製品・消臭性製品の開発	材料・加工	東部工業技術センター
7	ソイルセメント基礎と外側骨組み構造による低コストハウスの開発	農業	農業技術センター 西部工業技術センター
8	ブドウの棚下空間を利用した収量3割増加技術の開発	農業	農業技術センター 東部工業技術センター
9	広島牛低コスト生産のための短期肥育・混合飼料体系及び適期出荷技術の開発	畜産	畜産技術センター
10	効率的かつ安定的な広島牛体外受精胚の生産技術の開発	畜産	畜産技術センター
11	地域ブランド化に結びつくウマツラハギの蓄養・養殖技術の開発	水産	水産海洋技術センター

(2) 評価基準

ワーキングスタッフによる評価は、各課題について、「県民ニーズ」、「技術的達成可能性」及び「事業効果」の三つの項目で5段階評価し、これらを点数換算して算出した平均点を「総合評価点」として表した。

「県民ニーズ」、「技術的達成可能性」、「事業効果」の評価点の意味は、下記のとおりである。各項目において、「A」は太字下線で示すように「標準的」であることを示す。

○ 県民ニーズ

- SS (5点) 県民ニーズは極めて明確で大きい
- S (4点) 県民ニーズは明確で大きい
- A (3点) 県民ニーズは認められる**
- B (2点) 十分な県民ニーズは認められない
- C (1点) 県民ニーズは認められない

○ 技術的達成可能性

- SS (5点) 優位性、有効性、適切性が極めて高い
- S (4点) 優位性、有効性、適切性が高い
- A (3点) 優位性、有効性、適切性が認められる**
- B (2点) 十分な優位性、有効性、適切性は認められない
- C (1点) 優位性、有効性、適切性は認められない

○ 事業効果

- SS (5点) 事業効果の根拠が明確で、効果が極めて高い
- S (4点) 事業効果の根拠が明確で、効果が高い
- A (3点) 事業効果の根拠が明確で、効果が認められる**
- B (2点) 事業効果の根拠は明確だが、効果が十分高いとはいえない
- C (1点) 事業効果の根拠が不明、あるいは効果が低い

(3) 総合判定基準

評価委員会として優先順位付けを行うため、ワーキンググループの評価を基に、評価委員会の見識により、次の3区分への総合判定を実施した。

区分	意義, 内容
S	県として優先して実施すべきもの
A	県として実施することが適切なもの
B	研究計画等の見直しが必要なもの

2 評価結果

(1) ランキング

○ 事前評価を実施した11課題について、ワーキングスタッフによる評価点を次のとおり数値化して算出した総合評価点に基づきランキングを行った。(表2)

SS⇒5, S⇒4, A⇒3, B⇒2, C⇒1

○ 11課題のうち、総合評価点3.0点以上の課題は、9課題であった。

そのうち全評価項目(県民ニーズ, 技術的達成可能性, 事業効果)3.0点以上の課題は、7課題であった。

表2 総合評価点によるランキング

順位	番号	研究課題名	分野	センター名	県民ニーズ	技術的達成可能性	事業効果	総合
1	11	地域ブランド化に結びつくウマツラハギの蓄養・養殖技術の開発	水産	水産海洋技術センター	3.7	3.7	3.8	3.7
2	1	健康被害をもたらす原因化学物質探索システムの開発	保健衛生	保健環境センター	3.8	3.5	3.4	3.6
3	5	車載部品エレクトロニクス化における安全性向上技術の開発	産業情報技術	西部工業技術センター	3.8	3.3	3.5	3.5
4	6	プラズマプロセスによる撥水製品・消臭性製品の開発	材料・加工	東部工業技術センター	3.2	3.3	3.4	3.3
4	8	ブドウの棚下空間を利用した収量3割増加技術の開発	農業	農業技術センター 東部工業技術センター	3.4	3.1	3.3	3.3
4	10	効率的かつ安定的な広島牛体外受精胚の生産技術の開発	畜産	畜産技術センター	3.2	3.8	2.9	3.3
7	3	電池式センサ等ワイヤレス給電システムの開発	材料・加工	西部工業技術センター 畜産技術センター	3.5	3.1	3.0	3.2
7	4	導電性DLCの実用化に関する研究	材料・加工	西部工業技術センター	3.2	3.3	3.1	3.2
9	9	広島牛低コスト生産のための短期肥育・混合飼料体系及び適期出荷技術の開発	畜産	畜産技術センター	3.2	3.2	2.6	3.0
10	7	ソイルセメント基礎と外側骨組み構造による低コストハウスの開発	農業	農業技術センター 西部工業技術センター	3.2	2.9	2.7	2.9
11	2	環境負荷低減とコスト削減の両立を実現するLCA導入システムの開発	環境	保健環境センター	2.7	3.0	2.8	2.8

(2) ポートフォリオ

○ 事前評価を実施した11課題について、県民ニーズ、技術的達成可能性及び事業効果の3つの大項目の評価点に基づくポートフォリオを作成した。

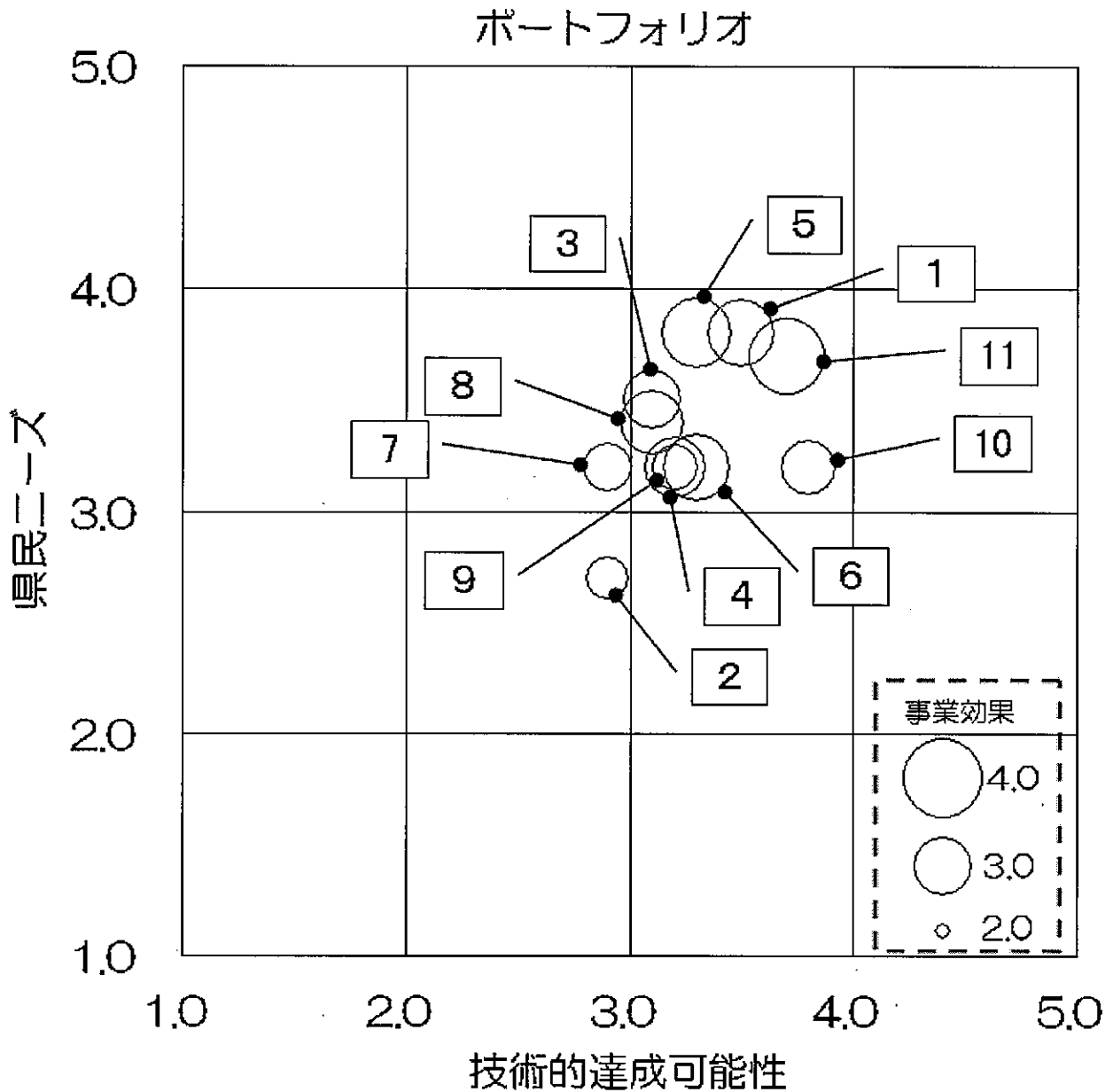


図 ポートフォリオ

注) 図中の数字は、表1の「課題番号」である

3 評価委員会意見（総合判定）

- 判定の区分として下記のS, A, Bに区分することとした。
- ワーキングスタッフによる評価点、ランキング、ポートフォリオ、委員の意見等を基に、評価委員会において、県が実施する必要性、早期の事業効果、経費に対する効果、地域性・独自性、横断性・融合性などを考慮し、分野間の調整も含めて総合的に判断することとし、今年度は、次のとおりに区分けした。（表3、表4、表5参照）
- 県におかれては、この分類に沿って実施していただきたい。

S	県として優先して実施すべきもの
A	県として実施することが適切なもの
B	研究計画等の見直しが必要なもの

表3 S：県として優先して実施すべきもの 3課題

課題番号	研究課題名	センター名
11	地域ブランド化に結びつくウマツラハギの蓄養・養殖技術の開発	水産海洋技術センター
1	健康被害をもたらす原因化学物質探索システムの開発	保健環境センター
5	車載部品エレクトロニクス化における安全性向上技術の開発	西部工業技術センター

表4 A：県として実施することが適切なもの 4課題

課題番号	研究課題名	センター名
6	プラズマプロセスによる撥水製品・消臭性製品の開発	東部工業技術センター
8	ブドウの棚下空間を利用した収量3割増加技術の開発	農業技術センター 東部工業技術センター
3	電池式センサ等ワイヤレス給電システムの開発	西部工業技術センター 畜産技術センター
4	導電性DLCの実用化に関する研究	西部工業技術センター

表5 B：研究計画等の見直しが必要なもの 4課題

課題番号	研究課題名	センター名
10	効率的かつ安定的な広島牛体外受精胚の生産技術の開発	畜産技術センター
9	広島牛低コスト生産のための短期肥育・混合飼料体系及び適期出荷技術の開発	畜産技術センター
7	ソイルセメント基礎と外側骨組み構造による低コストハウスの開発	農業技術センター 西部工業技術センター
2	環境負荷低減とコスト削減の両立を実現するLCA導入システムの開発	保健環境センター

